

さいたまここに人あり

# HAGE&WAZKA

教育基本法・憲法 改悪をゆるごは



奥田直和さん 滝沢芳昭さん

## 組合活動に笑いがほしかった

「HAGE&WAZKA」。この名前を聞いたことのある人も、最近はぐんと増えているようだ。全国区になりつつある。

所沢市教組の人でこの名前を知らない人はいない。この名前を口にすると思わずふふっと笑顔がこぼれる。そのまま言っているのかな、失礼じゃないのかな、どっちがハゲでどっちがワズカなの？

所沢市教組の「旗開き」は、いつも笑いと共感の渦。みんな、この二人の演奏を楽しみにしている。みんな、涙くみながらおなかをかかえて笑ったり、いっしょに手拍子しながら歌ったりしている。いっしょに笑う底には怒りや憤り、日頃の思いといった共感がある。そつた、その通り！・・・そして最後はシーンときたりする。

この二人のはにかんだ表情がまた良い。けして得意がったりしない。二人とも小学校の教師だが、学校の中でも子ども達や先生方から絶大な信頼を得ている。職員会議でも、言うべきことはきちんと発言し、毅然としているところがまた魅力なのだ。

最近、埼玉県内だけでなく、宮城や神戸でも呼ばれているというお二人の姿を紹介した。

聞き手 宮崎 令子（所沢市立南小）

山口 勇（三芳町立藤久保小）

# スマイル アンド ホット

## もう20年以上になるかな

**宮崎** それではまず、お二人の演奏活動はいつ頃、どんな気持ちでスタートされたのですか。音楽活動への思いもお聞かせ下さい。

**奥田** 若い頃、替え歌をいくつか作っていて、これはギターに合いそうだなと思って、ギターを買いに行きました。ハーモニカやリコーダーはもともと好きだったけれど、ギターは初めてだったので、牛沼小の職員室で滝沢さんに教わったのです。これが二人で演奏するきっかけになりました。

**滝沢** ぼくは小学校6年生でギターを始めました。浦和で臨探教員をやったとき、全生研のひまわり学校に行き、クラスで歌うのにギターを使うといいなと思い、それからずっと歌ってきました。

**宮崎** どんな曲ですか。

**滝沢** 「たんぼぼ」や「とびたとう」を黒板にはって、朝の会などで歌いました。  
**宮崎** 二人で結成したきっかけは何ですか。

**奥田** 体育同志会の仲間を通じてです。  
**滝沢** 牛沼小で体育主任をやっていて、このままではいやだなと思い、体育同志会に入りました。

**奥田** 二人ともバスケット好きですね。  
**宮崎** 私もバスケットが好きで、奥田さんの印象は、教研などでバスケットのレポート発表がすばらしいというのが最初でした。二人で演奏したのは、いつからですか。  
**奥田** 1990年頃、新所沢公民館の旗開きで「森のくまさん」を歌ったのが初めてかな。次に小手指公民館でやったらアンコールがあった。

**宮崎** 200人以上が総立ちになって盛り上がったのを覚えています。  
**奥田** もう20年以上になるのかなあ。

## 組合活動を しかめっ面でやらない

**奥田** 組合の旗開きで歌うようになったのは、組合活動に笑いがほしかったからです。所沢の組合はまじめで、すごく好きだったけれど、そこにもう一つ笑いがほしいと思ったのです。

**山口** 江戸時代の川柳などでも、したたかに抵抗したという歴史がありますよね。

**奥田** 活動をしかめっ面でやらない。今年、体育同志会の全国大会を埼玉でやるのですが、実行委員のテーマは「スマイル アンド ホット」です。ぼくは実行委員長です。(笑い)  
**宮崎** 歌詞がとてもおもしろいのですが、どのように考えるのですか。

**奥田** 「これは許せない」と思ったときとか、歌詞を考えています。元歌も生かしつつ。

**宮崎** 車の中とかで？

**奥田** そう。学校の帰りなど、車の中で歌いながら。むかしはカセットテープで録音したり、いつでもメモできるようにメモ用紙と鉛筆を用意しておきました。

今は便利になってボイスレコーダーに入れています。

**山口** 二人でいっしょに作らないんですか。



**奥田** 作ると滝沢さんに聞いてもらって直したりします。独りよがりにならないようにファックスのやりとりもします。

**滝沢** 最近は二人で作ること多いよね。

**奥田** 二人でやると持ち味

も感覚も違うし。滝沢さん、素直じゃないからすぐ良いと言わないし。(笑い)

**滝沢** 一回作ってしばらくしてからまた直したりするよね。

**奥田** 完成まで日にちをおいたりします。

**滝沢** 所沢でやって反応見ても、消えていったものもあります。

**奥田** 聞く相手が好意的でも微妙な反応のときもある。

**滝沢** 教育現場での苦労や言葉にならないものがある。小中学校の先生たちはとても共感してくれる。高校で男性が多いときは、うまくいかなかったこともありま

## インパクトのある ネーミングで全国へ

**宮崎** どうしてこういう名前をつけたのですか。

**奥田** はじめは「ハゲルノハアスカ」とかだった。でも「ハゲアンドワズカ」にしたら、それだけでインパクトがあつて、みんなすぐ覚えてくれました。ZUではなくUをつけないのはこだわりがあります。(詳しくは個人的にどうぞ?)

**宮崎** デビュー後の反響はどうでしたか。

**滝沢** 所沢教組ではやるようになりました。いろいろ仲間たちから注文も来ます。「○○の続編を」とか、「最近の歌でも」とか。

**奥田** 依頼してきた相手にその状況を取材して歌詞を作ったりしています。たとえば、足立区ではそうやって作った歌を未だに歌ってくれているそうです。

**山口** どういうところから呼ばれていますか。

**滝沢** 埼玉近辺中心です。埼教組の組織学習会で呼ばれたのがきっかけで、当時の石田組織部長がその後も広めてくれま

# つらい思いを笑い飛ばし、のりこえる

した。全教養護教員部の全国大会を埼玉でやったとき、すごいパワーで皆、ノリノリになりました。それと、全国女性教職員のを埼玉でやったとき。この2回が全国に呼ばれるきっかけになりました。文芸研（文芸教育研究協議会）の全国大会でやったときも500人くらいだったのですが、すごい反響でした。

**奥田** 松谷みよ子さん、杉みき子さん、くどう直子さん達に「昼間聞けなかったから夜も来て」と言われ、急遽2回目も行ったということがありました。

**滝沢** そういうところで聞いた人が宮城や舞鶴、神戸にも呼んでくれるようになりました。

**奥田** 「追っかけ」みたいに、来てくれる人がいて、サイン、握手、写真など頼まれるようになりました。

**宮崎** 口コミで全国にひろがっているんですね。

**奥田** 全国どこでもうけるところは似たところですよ。「へんな人順に管理職にな

る」という歌詞のところは、「そうだ！」という声がかかったりします。どこでも大変苦労しているんだなーと感じます。「元気が出た」と言われたときは行ってよかったなと思います。

**宮崎** 練習はどこでやるのですか。

**奥田** 地区労働会館です。遅い時間でもできるがあります。

**滝沢** 今はオリジナルが増えていきます。笑ったあとで「ジーンとする」と言われ、自分も感動したり励まされたりしています。地方にコピーバンドも生まれています。

**奥田** ほくらが歌っているものを歌っているそうです。

**滝沢** 「大切な約束」は、青年部のバンドでも歌ってくれています。

今後も「歌と笑い仲間たち」を大切に

**宮崎** 活動してきて、何かエピソードは

ありますか。今後のことも聞かせて下さい。

**滝沢** 所沢市はトップダウンで二学期制になってしまったのだけれど、間の休みが短いから、「いつそのこと終業式と始業式をいつしよにしたら」と歌ったらその通りになったんです。

**奥田** 地方で演奏したとき、紹介で司会が困って「どちらがどちらで？」と聞かれました。「一人でハゲワズ」なんです。

**滝沢** ほくは本当は今でも反対なんです。が、ずっとこの名前で来ちゃいました。(笑い)

**奥田** 「歌と笑い仲間たち」という3つのテーマをずっと大切にしてきました。連帯のきずなをずっと大切にしていきたいと思っています。現場のつらい思いも時には笑い飛ばし、のりこえるパワーを持つとうぜと思って歌っています。組合活動という気持ちも底に流れています。三池闘争で「ガンバロウ」を皆で歌ったように、全国の働く仲間とみんなまで歌う歌をつくりたいという思いがずっとあるのです。

きょうはあたたかい元気のあるお話、どうもありがとうございました。

